

問題【社会】

鎌倉幕府に関する次の問いに答えましょう。

- (1) 源義経が平氏を滅ぼした戦いを何と言いますか。
- (2) 源頼朝が荘園や公領ごとに置いた役人を何と言いますか。
- (3) 鎌倉時代に将軍が御家人の土地を保護したり、新たに領地を与えることを何と言いますか。
- (4) 1221年に後鳥羽上皇が鎌倉幕府に対して挙兵したできごとを何と言いますか。
- (5) (4)の後に、朝廷を監視するために京都に置かれた役所を何と言いますか。
- (6) 1232年に北条泰時が武士の慣習に基づいて作られた法令を何と言いますか。
- (7) 幕府の実権を握った北条氏が独占した地位を何と言いますか。

豆知識 雑学コラム

幕府支配の始まり

源義経によって壇ノ浦の戦いで平氏が滅亡し、頼朝は守護と地頭を置いて源氏による政権が本格的に誕生します。ですが、頼朝と対立してしまった義経は戦に勝ったにもかかわらず追われる身となるのがまた悲しいところではあります。

さて頼朝による政治ですが、「御恩と奉公」という将軍と御家人の主従関係が確立します。簡単に言うと、土地を与えたり保護する代わりに将軍のため戦うというものです。義経をかくまった奥州藤原氏も滅ぼして全国に影響を持つようになりますが、2代将軍・頼家の時代になると御家人同士が争い始めます。御家人をまとめた北条氏が将軍の力を弱めて権力を握り、執権という地位についてその地位を独占するようになります。

3代将軍・実朝が殺害されると朝廷の権力回復をねらって後鳥羽上皇が幕府を倒すべく挙兵します。相手が上皇と聞いて戸惑う幕府軍ですが、ここで北条政子の「今のあなたたちがあるのは誰のおかげですか!!」という訴えが出てきます（少し言い方を盛りましたが…笑）。

結束した幕府側はこの反乱を退け、京都に六波羅探題を置いて朝廷を監視することで幕府の支配がより強まります。3代執権の北条泰時が「御成敗式目（貞永式目）」を定め、朝廷の律令とは別に武士の制度が誕生します。この御成敗式目は戦国大名も参考にするなど、武士政権の中で見本になりました。ここに源氏による鎌倉幕府が、北条氏による鎌倉幕府ができあがりします。

ちなみに源氏の将軍は3代で途絶えますが、4代目以降に藤原氏や皇族を将軍に迎えたことで鎌倉幕府が約150年続いていくこととなります。

【解答】

- (1) 壇ノ浦の戦い (2) 地頭 (3) 御恩
(4) 承久の乱 (5) 六波羅探題
(6) 御成敗式目（貞永式目） (7) 執権